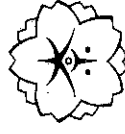


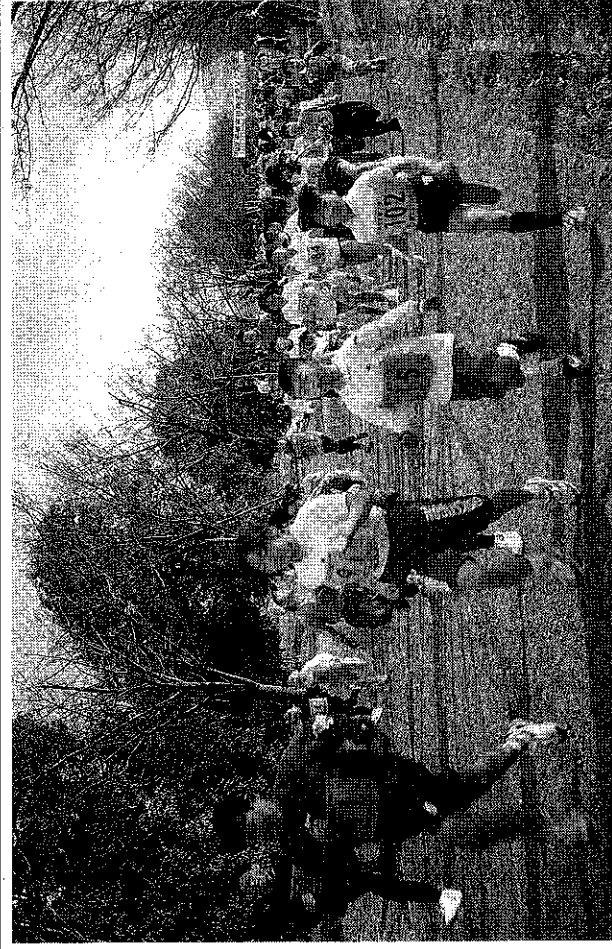
No. 49

発行/奈良市議会  
編集/奈良市議会だより  
編集委員 会



〒630 奈良市二条大路南1-1-1  
奈良市議会事務局  
☎ (0742) 34-4734

# 奈良市議会だより



新春の陽光を受けて走り初め(平城京新春マラソン大会、1月5日)

## 12月定例会

# 大阪オリムピック招致支援を決議 奈良市への波及効果大きい

平成八年十二月定例会は、十二月三日から十八日までの十六日間の会期で開きました。この定例会では、市長から提案された平成七年度一般会計及び十特別会計決算の認定についての報告一件と、平成八年度一般会計補正予算や助役、収入役の選任など議案二十四件を原案どおり可決しました。また、議員提出のオリンピック競技大会大阪招致の支援に関する決議を可決しました。

初日に市長は招集あいさつで、環境庁の残したい日本の音風景百選に「春日野の鹿の鳴き声と諸寺の鐘」が選ばれた。加えて奈良町が、都市景観百選の一つとして建設大臣表彰を受けた。このことは、

景観保全に取り組んでいく上で大きな意義がある。今後も都市の顔として多くの人々が都市の誇りを感じる地区となるよう一層の努力を重ねたい。また、去る十一月二十四日から第十二次友好代表团とし

て中国西安市を訪れた。その中で次代を担う青少年の交流を盛んにし、文化、教育の交流を行い、世界平和に努めることで意見の一致をみた。その折りに、西安市から特別名誉市民の称号を頂いた。限らない光栄に存じるとともに、市民の皆様のご協力のたまものと深く感謝している。一層友好交流に尽くす決意である

る決算特別委員会を設置して審査(審査概要は、四面に掲載)を行いました。市長から提案された報告一件、議案二十四件はすべて原案どおり可決しました。このうち人事案件では、十二月十八日に任期が満了する桐木弘助役と岩井健司収入役の再任にそれぞれ同意しました。

## 平成七年度決算を認定 実質収支二億九千六〇〇万円

今定例会で認定した一般会計及び十特別会計の平成七年度歳入歳出決算額の総計は、歳入で千九百六十三億五千七百五十万円、歳出で千九百三十三億三千七百五十万円となっており、翌年度へ繰り越すべき財源を除いた実質収支額は、十八億九千六百万円の黒字となっています。

一般会計決算実質収支額は十四億八千八百五十万円の黒字で、うち七億六千万円が財政調整基金に繰り入れられています。決算状況は、財政構造の弾力性を表す経常収支比率が九三・六%(六年度九二・九%)と上昇し、前年にも増して弾力性がなくなっています。また、公債費比率は十八・八%

(六年度九二・九%)と前年より低くなっていますが、依然として高い数値となっています。

## 「議決結果一覧」

十二月定例会で議決した議案は、次のとおりです。

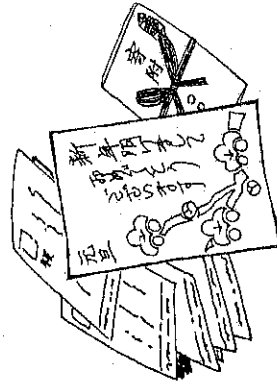
件名	結果
◇平成七年度歳入歳出決算の認定について	認定
◇平成八年度一般会計外五特別会計、二公営企業会計補正予算 補正総額一億四四二四万七千円、繰越明許費総額三億七三六二万七千円外	可決
◇市営住宅条例の一部改正について 市営住宅(横井町)建て替えに伴う家賃等についての条例措置等	可決
◇改良住宅条例の一部改正について 古市地区小集落改良住宅新設に伴う家賃等についての条例措置	可決
◇コミュニティ住宅条例の一部改正について コミュニティ住宅(紀寺町)新設に伴う家賃等についての条例措置	可決
◇水道事業の設置等に関する条例の一部改正について 米谷町への上水道の供給開始に伴う米谷簡易水道事業の廃止	可決
◇水道事業給水条例の一部改正について 東部地域等における上水道の供給に伴う水道施設加算分担金制度の新設	可決
◇財産の取得について 登美ヶ丘北近隣公園事業用地の取得	同意
◇市道路線の認定について 大和中央道菅原工区事業認可取得に伴う認定	可決
◇市営住宅明渡請求に関する訴えの提起について 長期不在者に対する市営住宅の明渡請求	可決
◇一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について 人事修訂告に伴う国家公務員の給与改定に準じた一般職の職員の給与表等の改定	可決
◇助役の選任について 任期満了に伴う桐木弘助役の再任	同意
◇収入役の選任について 任期満了に伴う岩井健司収入役の再任	同意

## 決議

今定例会で可決した決議は、次のとおりです。  
▽オリンピック競技大会大阪招致の支援に関する決議  
二〇〇八年第二十九回オリンピック競技大会の開催地に大阪市及び横浜市が名乗りを上げた。オリンピックが大阪市で開催されることは、奈良市にとっても、その波及効果ははかり知れない。また二〇一〇年の平城京遷都千三百年に向けて国際文化観光都市奈良市を世界にアピールする絶好の機会ともなる。よって奈良市議会は、大阪市のオリンピック招致に全面的な支援を行うことを決議する。

議員の  
あいさつ状  
寄附行為  
は法律で禁止  
されています

市民皆様の一層のご理解をお願い申し上げます。



この用紙は再生紙を使用しています。

## 大阪招致を積極支援 2008年オリンピック

問 二〇〇八年のオリンピック開催地として大阪市に続き横浜市が立候補した。近畿圏の活性化のためにも大阪市での開催を積極的に支援すべきと考えるか。

答 オリンピックが大阪で開催されれば関西経済の活性化と基礎の確立、さらには阪神・淡路大震災からの復興の大きな起爆剤となる。長い歴史と多くの文化財を有する奈良が大阪招致を支援することは世界的にも大きくアピールできると考えている。

また、大阪オリンピックは二〇一〇年の平城京遷都十二百年に向けての大きな盛り上げ事業にもなり、奈良市にとっ

## 行政姿勢

### 公営住宅法改正で家賃改定 平成十年 度から適用

問 公営住宅法が改正され平成十年 度から適用される。家賃のシステムが、収入と立地条件や規模などの便益に応じた家賃になる。市営住宅の家賃はどのようになるのか。

答 家賃が上がる入居者は、相当数になるのではないかと思われるが、経過措置として

一定の負担調整ができることとなっている。算定方法は政令で規定されているが、一定の範囲内で事業主体の裁量が認められるので、できるだけ配慮したい。収入超過者の割合は、全体の三割となっている。明け渡し条件の緩和は、法の趣旨から困難で、入居者

### 予算に反映させ推進 市行革大綱策定

問 奈良市行政改革大綱の具体的内容、実施計画を明らかにすべきではないか。また、地方分権に際して人的、財政的にどのように対応するのか。

答 大綱は推進事項として事務事業の見直し、組織・機構の見直し、定員管理と給与

の適正化の推進、効果的な行政運営と職員能力開発の推進、行政の情報化の推進等によるサービスの向上、会館等六項目を挙げ、平成八年度から十一年度の四年間を推進期間としている。即刻実現しなければならないものである。実施計画を作るより、予算に反映させ推進したい。

地方分権は地方公共団体にとって財政的なあり方と、人的な要素が最大の課題と考えている。国で、地方分権推進計画が策定されることとなっているので、この動きを待つて対応していきたい。

## 質問と答弁

### 本会議

## 事務事業見直しなど六項目 平成八年度から四年間推進

### 行革大綱

十二月六日、九日、十日の本会議では十一人の議員(うち代表質問五人)が、質疑・一般質問を行いました。今定例会では、二〇〇八年オリンピック大会大阪招致の支援や奈良市行政改革大綱、厳しい財政状況下での施策の推進などについて活発な論議がありました。以下は質問と答弁の要旨です。

## 国内外にアピール必要 市制百周年記念事業

問 市制百周年記念事業への取り組みは。答 単なる祭りではなく、次の百年に向かっての、新世紀への懸け橋でなければならぬと思っている。記念式典、市民公募アイデアや朱雀門等を生かしたイベントなどの百周年記念事業、世界遺産登録事業、市民ホール完成事業で構成する。市民こそって祝えるような事業にしたい。

問 平城宮跡で朱雀門、東院庭園が復元されるが、これらを中心とした国内外にアピールする記念事業が必要ではないか。

答 復元が進められている朱雀門、東院庭園、朱雀大路は、今後、平城宮跡の新しいシンボルとして世界から注目されると確信している。朱雀

の意向を十分踏まえ、特定優良賃貸住宅、公団住宅等を紹介しながら対応したい。

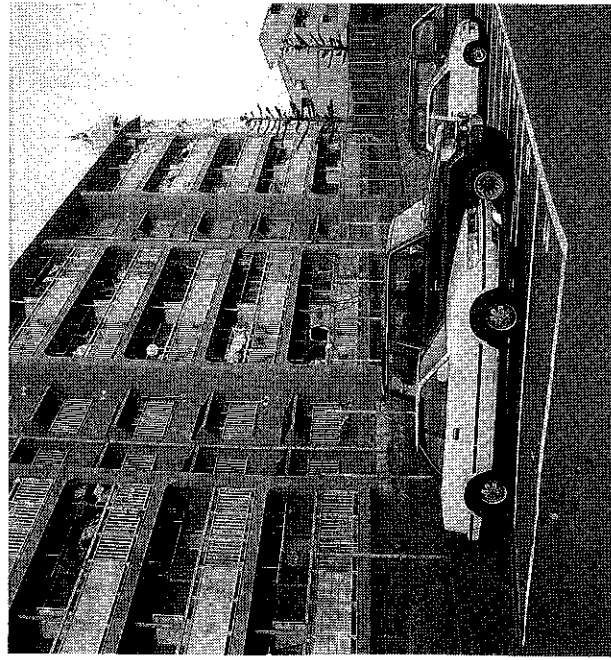
問等を生かした事業の展開には、奈良国立文化財研究所や県の協力も得たい。

### 他市の状況を調査 環境条例への対応

問 県議会の十二月定例会で環境基本条例案と生活環境保全条例案が審議されているが、奈良市の対応は。

答 環境基本条例案は、平成八年三月に策定された奈良県環境総合計画に基づき、基本的な理念や施策について規定した条例である。また生活環境保全条例案は生活環境の保全や廃棄物の資源化、減量化の推進などを盛り込んだものと認識している。

市も現在、他都市の状況を調査しているところであり、



市営住宅に平成10年度から新築家賃制度適用

## 用語解説

### ▽経常収支比率

答 易に削減することが困難な義務的性格の強い経常経費(人件費、扶助費、公債費等)に充当された一般財源(地方税、地方交付税のうち普通交付税、地方譲与税等)の割合であり、臨時の財政需要に対する当該団体の財政の適応力を見る

手段を目標に、仮称・奈良市環境基本条例及び奈良市環境基本計画の策定を進めたい。

## 財政

### 新年度予算編成は 徹底した見直し

問 平成九年度予算の編成をどのように考えているか。

答 市の財政を取り巻く厳しい状況のもと、市行政改革大綱の実施により、徹底した見直しを行い、経費の節減を図るとともに、事業の優先的なものを選択を行いたい。まちづくりは人づくりの理念のもと、児童・生徒の健全育成学校・園活性化対策事業の継続、生涯学習センターの建設推進などを予算の中で反映させたい。

### 経常収支比率上昇 平成七年度決算

問 平成七年度決算では、経常収支比率が上昇している。公債費比率も前年より少し下

ものである。通常は、七〇%から八〇%に分布するのが標準的で、八〇%を超えると財政構造が硬直化しているといわれる。

### ▽公債費比率

地方債を発行し、借り入れた金額の元利金の支払いに要する経費を公債費とい、この公債費の一般財源に占める割合を公債費比率という。地方債はある程度活用すべきであるが、後年

がったが高い。あまり高いのは問題である。どう考えるか。

答 一般会計で実質収支十四億八千八百六十八万円の黒字決算となっているが、経常収支比率は、景気の低迷による市税の伸び悩みや、国の景

度の負担となるので、その限度をどこに求めるかが問題となる。

### ▽シルバーハウジング

建設者と厚生省が提唱する高齢者専用の集合住宅のこと。十から二十戸を一つの単位として供給し、改差解消、手すり設置など高齢者の生活特性に配慮した仕様となっている。住宅内に相談員が配置され、入居者に対する生活相談、緊急時対応などに当たる。

気浮揚策における地方単独事業での市債の活用等、複合的な要因で数年来上昇している。

経常収支比率、公債費比率にも十分配慮しながら、市民の夢の実現に取り組んでいきたい。

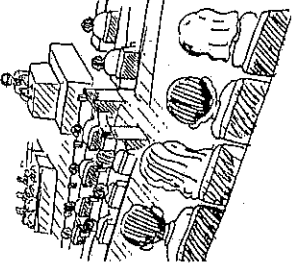
## 本会議を

傍聴してください。

議会の本会議は公開が原則ですのでどなたでも傍聴できます。市民の皆さんの生活に直結した重要な問題を審議していますので、市政を身近なものにするためにも本会議を傍聴してください。

本会議は年四回(二月、六月、九月、十二月)開きます。

傍聴に関する手続き、日程は議会事務局(☎三四四七三四)へお問い合わせください。



教育

私費留学生に奨学金を

問 経済的に大変な状況の中で、市内に多くの私費留学生が暮らしている。積極的に国際交流を展開する市として私費留学生に対する奨学金支給、家賃補助の制度を導入する考えは。

答 現在、国民健康保険料の一部を市が負担する外国人留学生健康奨励金制度を実施している。帰国後、留学生が母国と奈良の友好の懸け橋となることが期待できることから、勉学に専念できる条件整備は必要と考えている。奨学金制度などについても他都市の状況を調査研究したい。

福祉

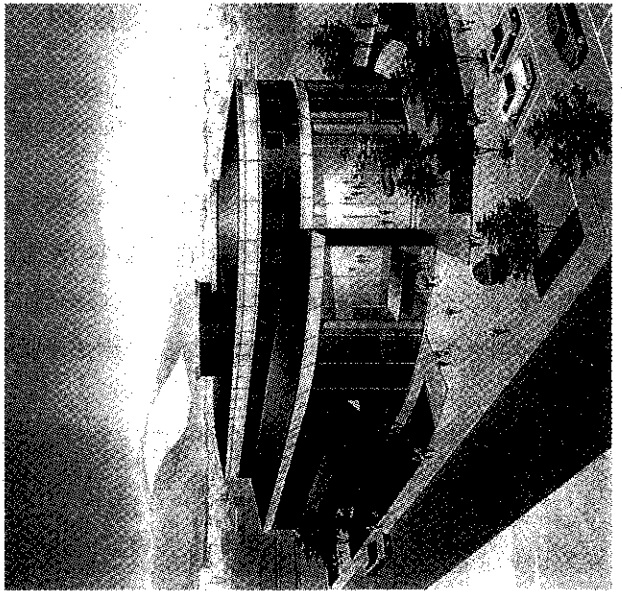
紀寺団地で検討 シルバーハウジング事業

問 市営住宅建て替えの際、高齢者が安心して暮らせる計画的なまちづくりが必要と考えられる。奈良市新総合計画・第二期基本計画中のシルバーハウジング・プロジェクト事業の概要、開始時期、実施団地について聞きたい。

答 約三十戸の高齢者世帯

生涯学習元年にセンター完成の十年

問 建築中の生涯学習センターの完成は市制百周年の平



生涯学習センター完成予想図

住住宅の建設予定であり、平成十三年度の事業着手を考えている。また、市営八十八戸、公団五百十戸と公的住宅が集中する紀寺団地で実施したいと考え、現在、県、公団と協議を進めている。

障害者プラン 県の動向を見て策定

問 政府は平成七年十二月、教養目標を明確にした障害者プランを策定した。市の障害者プランの策定は進められているのか。

答 障害者プランの保健福祉サービス体系は、市町村域、広域圏域、都道府県域の各圏域ごとの機能分担を明確にして面的・計画的な整備により重層的ネットワークを構築することになっている。この圏域設定の作業が、県で進めら

建設場所検討中 南部老春の家

問 後期基本計画にも取り上げている南部の老春の家は、

リフト付路線バス拡充 停留所整備図る

問 二台のリフト付路線バス導入から一年がたつ。年次計画で、拡充を図るべきでは

答 リフト付路線バスの導入は平成七年十月から、奈良交通バスの市内循環内回り線で行を開始している。この路線には十八の停留所があり

家庭に眠る 図書を学校へ

問 市立小・中学校及び一條高校の図書室の蔵書数が少ないと聞くが、取り組みは。また、他都市では生徒のプラ

求め、この世に生がある限り、学習を行って次の人に引き継いでいくという形のものでなければならぬとの考えで、平成十年完成をめどに生涯学習センターを建設している。

市制百周年が生涯学習スタートの年でもあるとの考えのもとで、建設を進めていきたい。また、専門的な知識を持つスタッフが不可欠なので、開館準備も含め、人材の確保に努めたい。

南部五校区の高齢化率、道路網、自然環境等総合的に見て、国道一六九号線沿いに建設すべきと思うが。

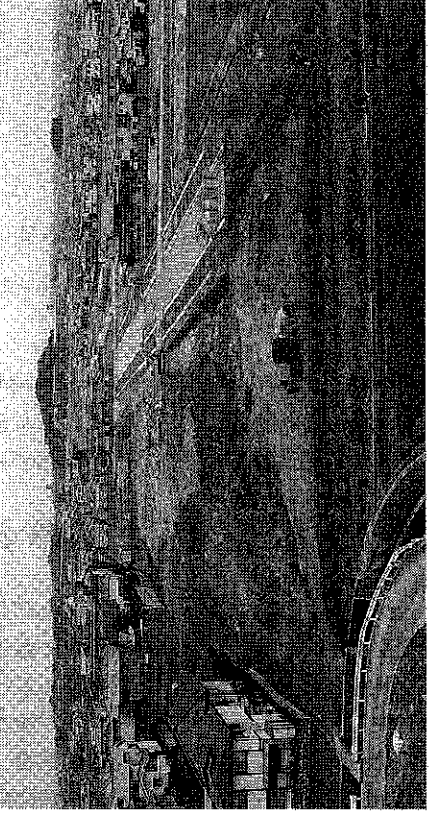
答 現在建設場所の選定を進めている。若干遅れているがいろいろな条件を整理した上で一日も早く決定したい。施設内容は、東西の老春の家と同じようになると思うが地域のニーズも組み入れ、利用しやすいものになりたい。

都市整備

遷都1300年までに西大寺副都心づくり

問 近鉄西大寺駅周辺の新しいまちづくりの現状と当面の課題を聞きたい。

答 駅北側で計画している都市計画道路西大寺一条線は、現在二件の用地買収を残すだけとなっており、早急に完了させたい。再開発事業はバブル経済崩壊の影響もあり、権利者との合意形成に至っていないが、今後十分協議をしていく。駅南側の土地画整理事業は地区の南から事業を進めており、平成七年度末で全体事業費百二十七億五千



事業が進む西大寺地区画整理事業

講習会の開設を 体育指導者の養成

問 体育指導者養成のための具体的な講習会、養成講座開設の考えは。また、本市の体育指導委員に対する報酬増額の考えは。

答 指導者養成については、現在、水泳、バレーボール等において講習会を開催している。今後は体育協会を中心とする各競技団体、地域スポーツ団体、体育指導委員と連携

し、全的に指導者の資質向上を図るべく研修に努めたい。また、体育指導委員の報酬に

その他の主な質問事項

- 予算繰越しの減少策
○消費税引き上げの目的と歳出面への影響
○地方債の低利への借り換え
○固定資産税の評価替えと税率の引き下げ
○行政手続条例
○情報公開制度
○地方自治の本旨
○市職員の高齢者雇用
○子ども議会での意見、要望の予算化
○ボランティア休暇制度
○新選挙制度
○投票所等公共施設のバリアフリー化
○郵便による不在者投票の対象者拡大
○印鑑証明書等自動交付機の導入
○年末融資の特別枠
○市民農園の開設
○公営施設の案内標識
○消火器の点検、再配備
○県営へリポート建設
○国際交流センター建設への市民参加
○市民参加の街区公園改修
○県・市の連携とまちづくり
○京奈和道等道路整備
○厳しい財政状況下での都市基盤整備事業
○南部地域の振興
○J-R奈良駅周辺の再開発とならまち蘇生
○市民余暇センター、高度情報センター建設計画と企業との約束
○開発指導
○J-R奈良駅前まちづくりの見直し
○J-R奈良駅南土地画整理事業
○東部地域等水道整備事業
○市街地開発株式会社の必要性
○第二清掃工場建設
○土・日の大型ごみ自己搬入の受け入れ等
○リサイクルセンター建設
○計画的なトイレ整備
○福祉施設の公設民営方式
○福祉の郷構想
○在宅介護支援センター
○アイサービスマスター
○介護保険導入と医療保険制度改正
○生活保護訴訟と生活保護行政
○西北部の保健センター新設と現保健センターの改築
○福祉のまちづくり
○音楽療法事業の推進方針
○母子保健事業の強化
○国民健康保険料引き下げと減免要綱
○国民健康保険の短期保険証廃止
○はり・きゅう治療への保険適用
○巨樹、古木の保護
○青少年野外活動センターの整備状況
○余裕教室の有効利用
○コンピューターによる教育
○完全学校週五日制への対応
○スポーツ振興

については、その活動に十分配慮する必要があり、他都市の状況などを考慮し検討したい。



# 決算特別委員会の審査概要

平成七年度一般会計及び下水道事業費特別会計決算外九特別会計決算の認定について、審査の付託を受けた決算特別委員会は十二月十日、十二日、十三日、十六日の四日間開催して審査した結果、いずれも認定すべきものと決定しました。以下は委員会審査の概要です。

## 補助金の見直し

問 財政健全化のため、経常収支比率等の目標数値の設定と補助金等の見直しは。

答 経常収支比率は今後五年間で弾力的運用が可能ならインにしたい。公債費比率は、借り換えで前年度に比べ低減したが、今後、優先順位をつけて起債の制限をしていきたい。補助金等は、その中身を精査していく。

## 審議会に女性を

問 審議会等への女性の登用は。

答 女性委員の占める比率は、非常に低い。現在、市女性施策推進懇話会で女性委員の適正比率を検討中。近く答申が出される。

## 事業系ごみの分別

問 事業系ごみ分別収集の取り組みは。

答 平成七年度で搬入量の三八%が事業系ごみで、家庭系ごみに比べて分別排出への協力度合いは低い。全事業所に対し、ごみの適正処理と減量化に協力を求めるため、啓発と指導に努めたい。収集運

## ごみ減量・再資源化

問 ごみ減量・再資源化の取り組みは。

答 紙・布類の集団資源回収助成事業、空き缶・空き瓶分別収集モデル事業、ごみ処理機器購入助成等を推進している。また環境清潔工場へ、ごみを自己搬入する際、再資源化物の回収位置がよくわかるように、誘導ライン、看板

## ごみ減量・再資源化

を設置した。家具・家電製品等大型ごみの中で再生可能なものは、リサイクルショップを運営している福祉団体に提供している。

## 独り暮らし老人

問 独り暮らし老人対策は。

答 万年青年クラブによる友愛訪問のほか、緊急通報システムや福祉電話の設置、また介護支援センターやホームヘルプサービス業務を実施している。

## 決算特別委員

- 委員長 堀田 征男
- 副委員長 山中 賢司
- 権木 義秀 池田 慎久
- 蔵之上 政春 山口 裕司
- 黒川 恵三 原田 栄子
- 中西 義次 吉田 文彦
- 北尾 好章 岡本 志郎
- 大谷 督 中村 重信

## 三条法華寺線の整備

問 都市計画道路三条法華寺線の整備は。

答 近鉄線とは立体交差となる。踏切南北の沿道の利便を確保するためのアクセス道路である佐保川線の事業認可を平成九年度に得一体的に整備したい。

## 大和中央道の進捗

問 大和中央道の今後の事業予定は。

答 現在施工中の秋篠工区は、平成九年度末までに完了し、引き続き、秋篠町から敷島町を経て西大寺赤田町までの事業について地元自治会と協議に入る予定である。菅原工区についても、用地買収に積極的に取り組んでいく。

## 防火水槽増設

問 震災対策の取り組みは。

答 マグネチユード七・一の直下型地震による被害想定調査を行った。消防面では、高度救助用資機材、支援車及び災害対応特殊救急車を装備するとともに、自然水利、防火水槽の再調査を行った。防火水槽については、耐震防火水槽も含め、年間十カ所程度の設置を行っていきたい。

## 適応指導教室

問 不登校児童を対象とした適応指導教室の今後の見通

しは。

答 平成六年九月から事業を開始し、平成七年度は十六人、延べ五百四十三人の参加があった。参加者や保護者の評価が高く、さらに参加増が見込まれる。現状では約二十人程度の指導が限界であるので、施設及びスタッフの確保について検討中である。

## 東市校区の公民館分館

問 東市校区の公民館分館早期建設は。

答 各小学校区に一館をめぐりに設置をしているが、未設置校区は、いずれも用地の確保に苦慮している。東市校区についても、自治会等の協力を得ながら、用地の確保に努めていく。

## 学園前駅南再開発

問 学園前駅南地区第一種市街地再開発事業の概要は。

答 ターミナル機能の充実及び奥柳登美ヶ丘線の交通渋滞の緩和や、南北を結ぶ歩行者動線の整備、駅前の市道の急勾配、急カーブの解消、駅舎に沿った歩行者道の整備で歩行者に優しいまちとなる。公民館、市民ホール、西部出張所、水道局西部営業所等を一体的に配置することにより、西部地域のまちづくりの中心核ができていく。

## 奈良市議会の一年

(平成八年一月～十二月)

平成八年は次のように定例会四回と臨時会一回の議会が開かれました。

- 三月定例会 (三月十一日～二十七日)
- 四月臨時会 (四月十七日)
- 六月定例会 (六月十四日～二十一日)
- 九月定例会 (九月十七日～三十日)
- 十二月定例会 (十二月三日～十八日)

## 議案百九件、報告三十件を審議

市議会では、市長から提出された議案や議員が提出する議案等を審議します。この一年間に市長から提出された議案は百八件、報告三十件、諮問一件、議員が提出した議案は一件で、これら合わせて百四十件はすべて原案どおり可決しました。

この他、議会選挙四件、議会選任二件、議会推薦一件、議会許可二件がありました。

## 質疑・一般質問に三十七人登壇

平成八年中における質疑・一般質問には延べ三十七人(うち代表質問十九人)が登壇し、議案及び市政全般にわたる項目について質問し、論議が行われました。

## 意見書六件、決議四件

意見書六件、決議四件を可決しました。

## 陳情八件

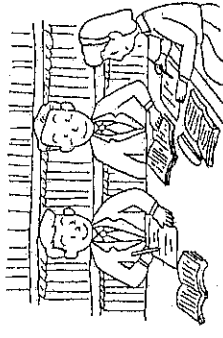
市民の方等から提出された陳情書は八件でした。なお請願はありませんでした。

## 傍聴者は百人

本会議を傍聴された方は、三月定例会三十四人、六月定例会二十五人、九月定例会三十一人、十二月定例会十人の合わせて百人でした。

## 本会議での質問、答弁 詳しくは会議録の閲覧を

本会議での議員の質問や理事者の答弁内容を詳しく知りたい方は、市立図書館や市役所一階市民ホールの行政資料コーナーで、会議録を閲覧してください。十二月定例会の会議録は、三月中旬にできる予定です。



## 市民ホールの管理運営

問 奈良市民ホール完成後の管理運営は。

答 管理運営費は概算で年間八億ないし十億円かかるという形では乗り切れないと考えるので、管理運営については、第三セクター方式も視野に入れ、企画運営委員会的なものを設置し検討していきたい。

## 編集後記

一面には、一月五日、平城宮跡で行われた「平城京新春マラソン大会」(奈良市民走ろう会主催)で元氣いっぱい走り初めを楽しむ小学生の姿を取り上げました。

十三回目を迎えるこの大会は、ランニング愛好家の間に正月の恒例行事として定着、今年も小学生から七十七歳までの四百四十一人が参加して広々とした平城宮跡に新春のさわやかな汗を流していました。

リサイクルショップでの再生品 (8年5月26日、市民ふれあい運動推進大会)

